

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」考察及び改善点

学力向上調査の目的

1. 東京都教育委員会は、学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況及び読み解く力に関する定着状況を把握し、全都における教育行政施策に生かす。
2. 東京都教育委員会は、区市町村教育委員会及び学校に対し、教育課程や指導方法等について指導・助言するとともに、教育行政施策に生かす。
3. 各学校は、教育課程や指導方法等にかかわる自校の課題を明確にし、その改善・充実を図るとともに、児童・生徒一人一人の学力の定着と伸長を図る。
4. 都民に対し、東京都の公立小・中学校における児童・生徒の学力の状況について、広く理解を求める。

調査内容

1. 「学習指導要領に示されている教科の目標及び内容」の実現状況に関する内容及び「読み解く力」の定着状況に関する調査。
* 「読み解く力」とは：文章や図表等から必要な情報を取り出し、比較・関連付けて読み取り、その意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力。

指導要領に基づいた各教科の考察及び改善点

<国語>

国語は基礎・基本事項の書く力、読む力の定着は都の平均を上回っている。しかし、読み解く力に関する内容の読み取る力は都の平均をやや下回っている。2つの資料の内容を比べて関連付けて読み取ったり考えたりすることに課題がある。「話し合い活動」を中心に 根拠を明らかにして自分の意見を発表する。 他者の考えを聞きながら比較したり、考えを深めたりするなどの自己解釈をもつ活動を取り入れていく。

<社会>

社会は基礎・基本事項の知識・理解力が都の平均を下回っている。地理・歴史に関係なく、ほとんどの授業において地図を活用する場面を設定し、社会的事象について地理的にとらえることができるようにしている。

<算数>

算数は基礎・基本事項の思考・判断・表現する力、技能の力、読み解く力に関する内容の読み取る力が都の平均をやや下回っている。基礎・基本的な知識は定着しているが、多様な考え方で問題を解いたり、根拠を明らかにして自分の考えを表現したりすることが苦手な児童が多い。言葉、数、式、図、表、グラフを用いて、根拠を明らかにして、筋道を立てて考えたり、互いに自分の考えを説明し伝え合ったりするなどの言語活動を積極的に取り入れるようにする。

< 理科 >

理科は読み解く力に関する内容の解決する力が都の平均をやや下回っている。問題解決型の学習を重視し、比べること・関係づけること・条件を整えること・推論することを意識させ、自然現象と知識を結び付けながら理解を深める授業を実施する。

読み解く力についての考察及び改善点

< 読み解く力 >

全体的な基礎・基本事項は定着している傾向にあるが、各教科において解決する力の育成を行う必要がある。

内言語を豊かにする・・・読書・親子読書・新聞等でいろいろな言葉に触れて語彙を増やすとともに、自分の考えを持って学習に臨めるように手立てを考える。

表出言語を豊かにする・・・文章を読んで文章からわかることを引き出す活動を多く取り入れる。意見交換や、話し合い活動においてペア・グルー・プ等の工夫を行い自分の考えを構築し発表やスピーチを多く取り入れる。また、日記・作文・感想文等書く活動も継続して取り組む。

習得した知識・技能を活用して課題解決をするための場面の設定、また算数少人数の授業においては習熟度別に段階を追って考えていくための手立てを考え、興味・関心を喚起しながら到達目標に向かう丁寧な指導を行う。

理科・社会においては課題設定や課題追究の方法を身に付け、自ら課題に向かって取り組む意欲を育てる。

課題解決のための情報の収集・選択の力を育てる。また、相手を意識し、まとまりのある発表の仕方を身に付けさせる。

< 基礎的・基本的な内容・読み解く力の土台となる力を育てる >

- ・家庭と連携し、早寝・早起き・朝ごはん等生活リズムを確立させる。
- ・学習習慣・学習モラルの定着を図る。
- ・生活の決まり、ルールを守れる子を育てる。
- ・元気な挨拶ができる子どもを育成する。
- ・縄跳び・持久走等継続した取り組みを行い児童の体力の増進を図る。
- ・全校一致した生活指導や家庭・地域と連携した子育てを実践し、たくましく思いやりのある心を育てる。